

○ 名古屋市長宛に市腎友会が陳情書提出

市腎友会では10月に「腎不全患者に医療費負担助成」「タクシー料金助成制度改正」「夜間透析施設への助成」を要望する陳情書をとりとまとめ、平成20年11月11日(火)午前11時から名古屋市役所4階会議室にて提出しました。

名古屋市議会議員久野浩平先生の立会のもと、名古屋市健康福祉局長谷川局長・赤井障害福祉部長・若杉生活福祉部長・佐藤健康部長以下課長及び係長等7名に出席していただきました。

提出に先立ち、久野議員より挨拶があり、腎臓病で苦しんでいる人たちの話を聞くようにとの話がありました。



加藤会長より透析患者の置かれている現状を説明し、そのあとに長谷川局長より受領にあたっての挨拶がありました。

続いてそれぞれの陳情項目について、山本副会長は第1項目、寺尾副会長は第2項目、野々垣財政部長は第3項目の内容について、実体験を交え説明をしました。



・陳情書に対する回答

1. 障害者の医療費助成について今後も堅持をお願いします。(山本副会長)

回答: 障害者の医療費助成については今後も維持したい(担当部長)

2. 重度障害者タクシー料金助成制度(現在は120乗車分)を156乗車分に増やしてほしい。(寺尾副会長)

回答: 必要性は理解できるが、H17年度調査では利用率が低く、再度意見供述調査の上検討(担当部長)

3. 夜間透析の維持のため、夜間透析施設の助成をお願いしたい(野々垣財政部長)

回答: 市内透析病院で夜間透析を廃止した病院は少なく、理由も患者数の減少が主な理由だと聞いている。将来を見据えて今後の状況をみてから検討(担当部長)